



医療法人社団 倫生会

## みどり病院

●編集発行／みどり病院 広報委員会

## 透析症例に対する心臓手術

透析患者さんではカルシウム代謝の異常により脳血管・心臓大血管領域の石灰化が著しく進行することがあります。心臓に関しましては冠状動脈の狭窄・閉塞による狭心症・心筋梗塞、弁膜症では大動脈弁狭窄症、僧帽弁逆流兼狭窄症による心不全が問題となってきます。冠状動脈病変に対してはカテーテルによるステント治療が有効であります。石灰化によって狭窄解除が困難な症例があります。こうした患者さんに対しましては外科的にバイパス術が有効なこともありますので、循環器内科と検討会で議論して治療方針を決めております。

また、透析症例の弁膜症治療は体外循環を用いた外科治療に頼らざるを得ない現況です。透析患者さんは石灰化による全身臓器の血流障害、傷の治り（創傷治癒）が不良で感染を起こしやすいなど心臓手術に伴うリスクが高いとされておりますが、透析チームと検討会を行って症状の改善につながる外科治療を行っております。これまでに縦隔の感染による1例を失った以外は皆さん元気に退院していただいております。透析患者さんで心臓血管障害を来して外科治療の対象となられる方には手術リスクを納得していただいております。



心臓弁膜症センター長  
おかだ ゆきかつ  
岡田 行功



手術室



透析室

お知らせ

岡田行功医師（心臓血管外科）、室生卓医師（循環器内科）は、岡本クリニック（JR・阪急三宮駅の神戸交通センタービル6F）でも、火曜日9：30～13：00に、隔週交代で診療を行っています。岡本クリニック TEL.078-322-2488

みどり病院へのお問い合わせは

電話 078-928-1700(代)